

科目名	整形外科科学				
分野	専門基礎分野	担当教員	鈴木 伸典		
開講時期	2学年 1・2学期	単位数	講義	演習	実技
時間数	60		4		
科目の概要	骨折および脱臼を除く運動器疾患について、解剖・生理学的基礎知識に基づいた病態。頻度の多い疾患についての、診断法、治療法。骨、関節、筋肉神経と系統を区分し、教科書の進行とは異なった切り口で講義を進める。				
科目の狙い	運動器疾患に関する述語の理解。疾患の理解。最新の治療法への関心。				
学習の到達目標	運動器の基礎知識の習得。骨折・捻挫の周辺疾患に関する知識の習得。				
学習方法・学習上の注意	教材と教科書記載との対照によりキーワードを探索し、国家試験の選択文章と対比する。当日の学習内容に関する課題を提出する。				
持参物	指定教科書				
講義計画	講義内容				
1	骨の基礎知識 骨基質の理解				
2	リモデリング ビタミンD 骨軟化				
3	骨粗鬆症				
4	骨形成不全 骨格異常				
5	骨折治癒過程・合併症				
6	骨感染症 骨髄炎・結核				
7	骨腫瘍 腫瘍類似疾患				
8	関節の基礎知識 関節臨床検査法				
9	関節リウマチ：病態・診断・治療法				
10	変形性関節症 一次性 二次性				
11	骨端症・循環障害				
12	非感染性関節疾患 HLA関連関節症				
13	痛風 偽性痛風 発育性股関節形成不全・離断性骨軟骨炎				
14	骨形態異常 ： 斜頸 ・ 足趾の変形				
15	総合評価(まとめ)				

16	骨格筋の基礎知識
17	筋肉疾患：進行性筋ジストロフィー・筋断裂
18	靱帯・腱の基礎知識
19	腱鞘炎・腱断裂
20	神経の基礎知識 臨床検査(誘発筋電図)
21	絞扼性神経障害(橈骨神経麻痺)
22	正中神経・尺骨神経麻痺
23	腕神経叢疾患：胸郭出口症候群
24	絞扼性神経障害(下肢)
25	神経根症 椎間板ヘルニア・
26	脊柱管狭窄症 後縦靱帯骨化症
27	脊髄損傷：概念・診断脳・
28	脊髄疾患 ポリオ、ALS
29	脳性麻痺 湿布の薬理：NSAIDs
30	総合評価(まとめ)
成績評価の方法と基準	4択試、記述問題に加え毎回の課題評価を加味し60%以上の得点で単位認定
使用テキスト	指定教科書
参考文献	柔道整復理論教科書, 柔道整復師国家試験対策でるぽとでる問(下巻)